

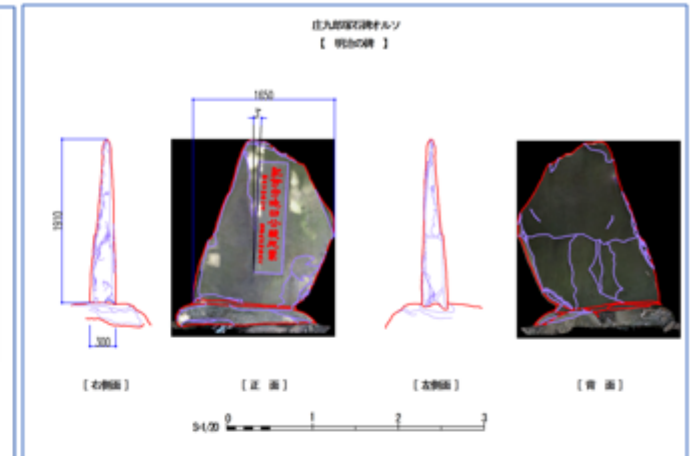
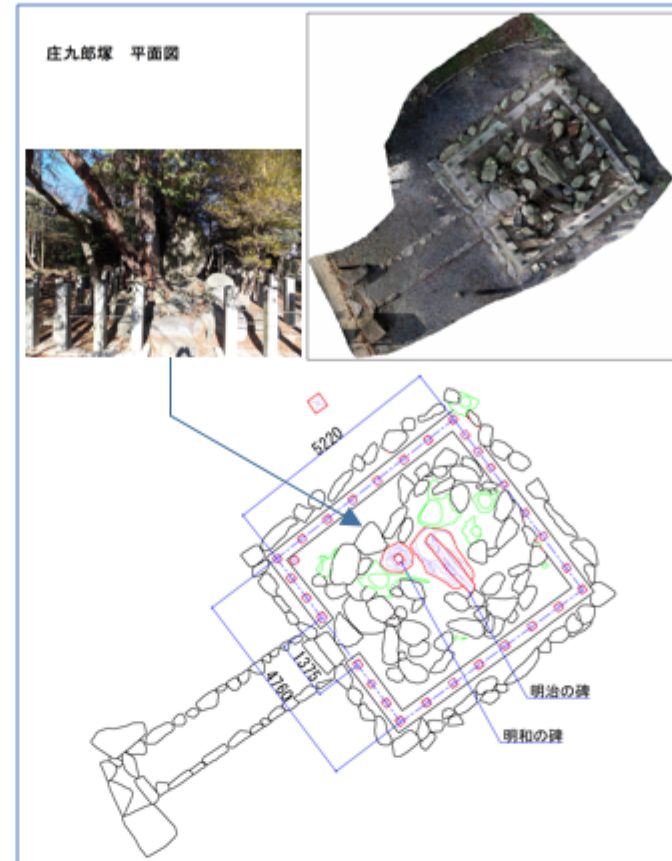
# 1 造園設計（国指定史跡の保全継承と勝入塚・庄九郎塚の修復）

史跡の本質的価値を構成する要素の一つである勝入塚・庄九郎塚内の石碑の修復整備

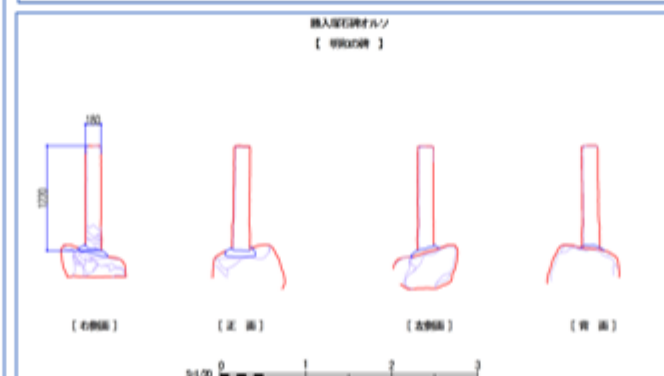
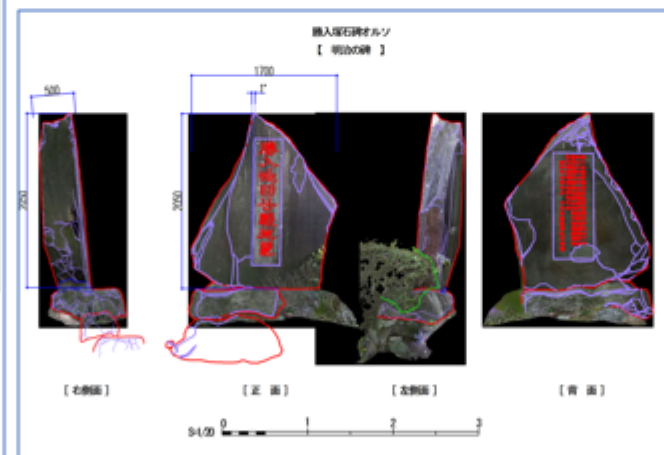
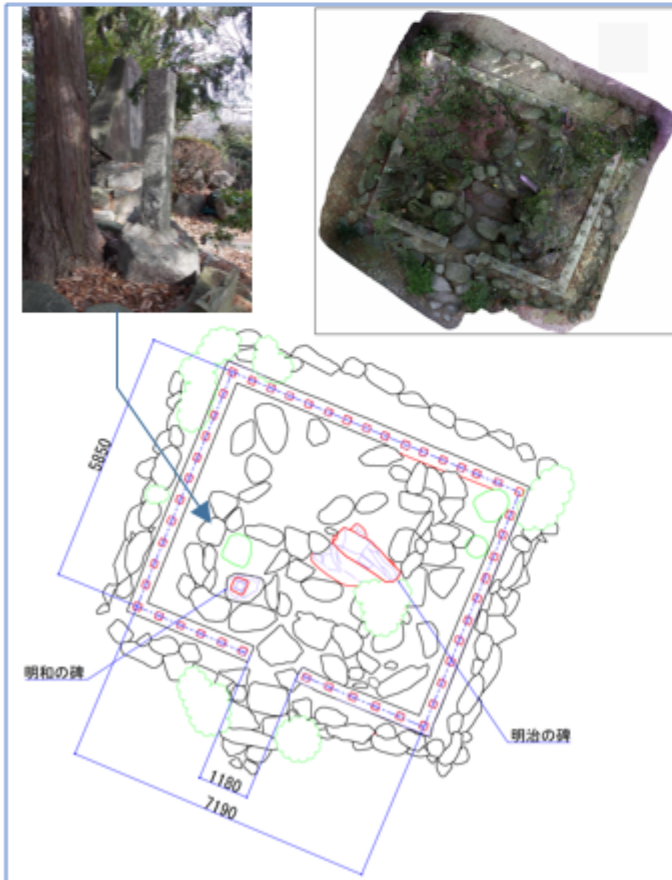
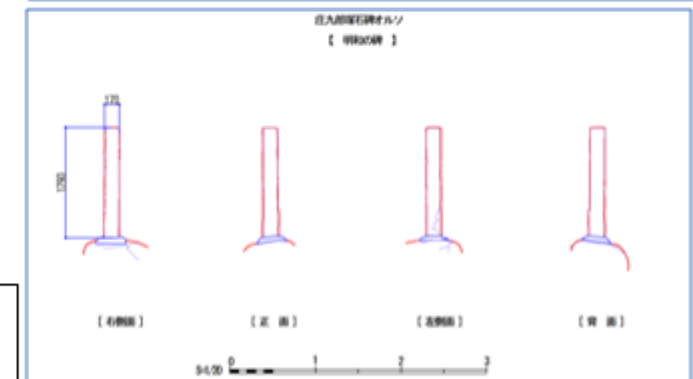
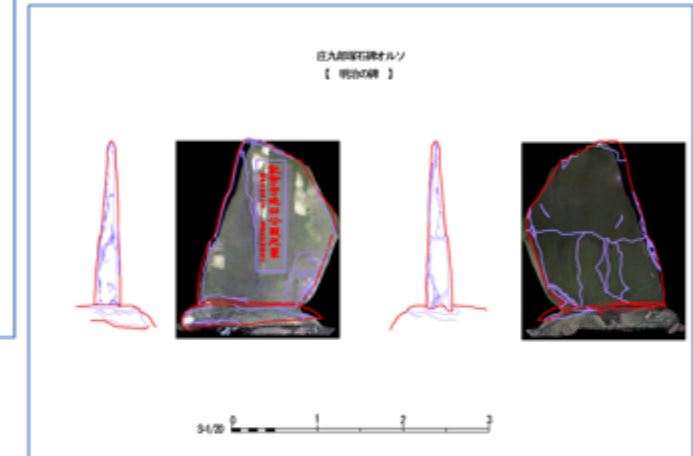
- ・経年劣化や樹木により傷んできた石碑や玉垣（石の柵）の修復を行う
- ・来訪者に石碑が見えやすい環境をつくる



- ・現況木の伐採を行う
- ・傾いた石碑（庄九郎塚の明治の碑は、3度程度傾いている）は、樹木の根茎が原因と考えられることから、影響をおよぼしている根茎は除根し、石碑の据え直しを行う[除根については史跡内であり慎重に行う必要があり、具教育委員会、文化庁の指導を受け実施していく]
- ・風化が進んだ玉垣は、薬剤の塗布等により保護していく
- ・コンクリート面が見える部分については洗出し仕上げ等を行い、史跡環境としてふさわしいしつらえとする
- ・文化庁と協議の上、耐震化を検討する。



傾いた石碑を据え直した状態



【事例】  
クスノキの根茎が  
構造物に影響してい  
た事例

石垣が孕んできたため、鋼材で止めている



石垣を外すと、根石の下まで根が伸びていた



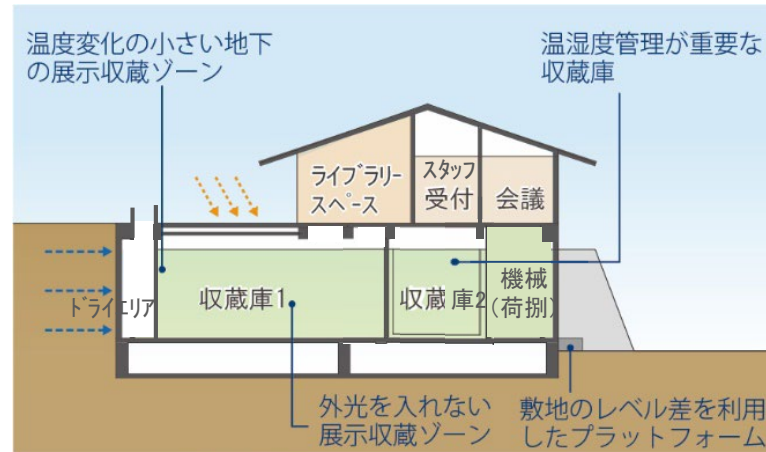
## 2 建築設計（ガイダンス施設の整備）

### 木の温もり溢れるガイダンス施設



公園を望める  
ライブラリースペース

現景観構成要素を  
尊重し、瓦や石垣  
をイメージできる  
外観仕様



【機能的な施設断面イメージ】

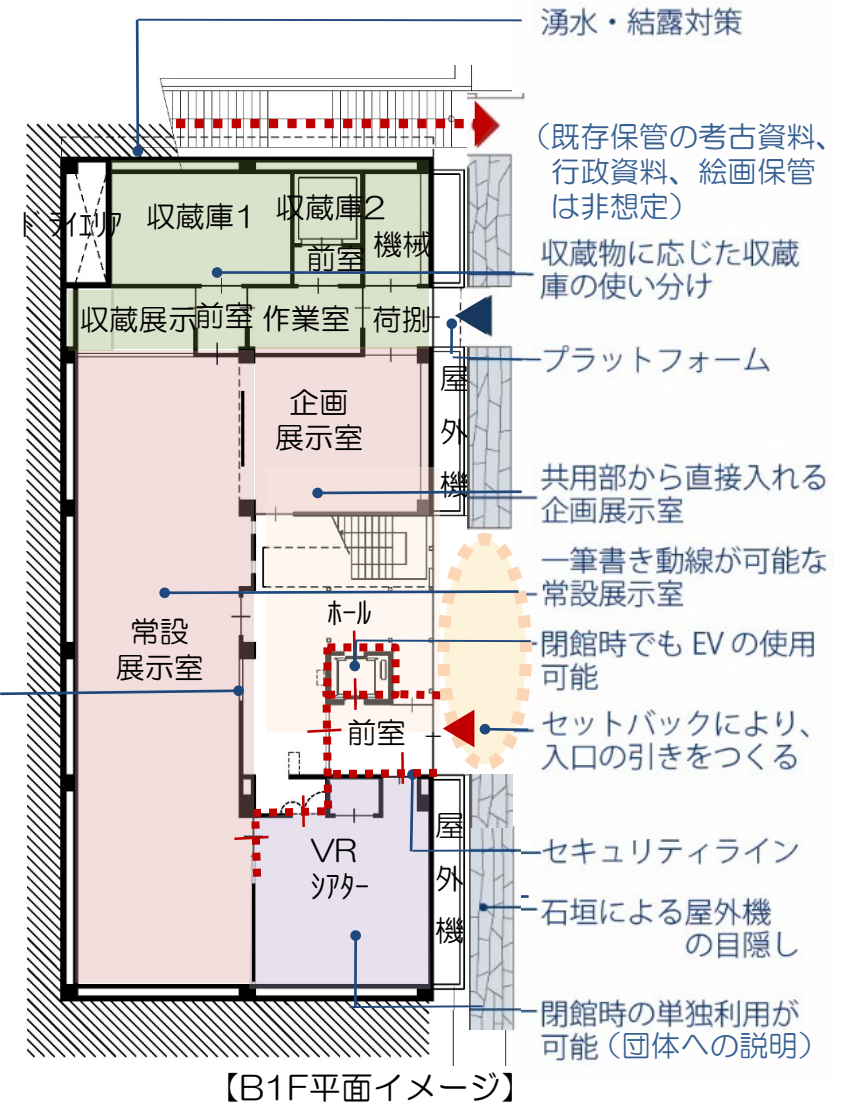
#### 【ガイダンス施設の整備ポイント】

- 多様な企画に対応できる企画展示室の配置
- 少ないスタッフで対応できる平面計画
- 休館時も利用できる貫通型EVの採用
- 休館時に単独利用可能なVRシアター
- 誰もが使いやすいエビゲーション施設づくり

(点字ブロック、車椅子回転空間やベビーカー巾の確保、バスマット対応等)



【1F平面イメージ】



【B1F平面イメージ】

#### 【行政手続き】

##### ■ 建築基準法第48条許可

- ・ ガイダンス施設は図書館等に該当で許可不要(但し、和弓場は必要)

##### ■ 都市計画法

- ・ 都市計画公園内に建築物を建設するための手続きを、法第53条の許可で進める事になるが、構造の制約(2階以下、木造、鉄骨造、ブロック造など容易に撤去出来る建物である事。)を受ける。しかし、法第59条に基づく都市計画事業の位置づけとしての認可を受ければ、制約を受ける事なく鉄筋コンクリート造の半地下部分の建設が可能になる。

##### ■ 都市公園法

- ・ 建蔽率2/100の制約は教育施設(体験学習施設)都市公園法施行令で定める特別な場合として10/100までが限度と出来る。  
敷地面積(都市計画公園) 11,330.57㎡ → 建築面積MAX 1,133.57㎡



木材を利用した場合の事例